

全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内(〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 岡田 俊明
電話 (03) 3581-3678
FAX (03) 3507-0886
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”
何でも110番
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

◇全国税ホームページ◇
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

トップの判断ミス 現場丸投げ 職員犠牲で最悪の確申期

超勤圧縮できず

「昼休み対応のため職員犠牲というのはふさわしくない。昼休み確保は本気だ。確保できていない場合、原因を説明し対応策を講じる」と牧野長官は大ミエをきり、「連日の超勤は避け、方向性として圧縮する」「パソコン環境がある者に初回型を推進するが、何かなんでもではない」との回答も結局は言い放し。トップの判断ミスと現場丸投げは将来に禍根を残し、職員犠牲を増幅させた最悪の確申期となりました。

確保できなかった昼休み

交替制で昼休みも相談を行いましたが、休憩時間がきても混雑した会場から引きあげることができず、昼休みを20分、30分に切りつめる事態が各地で起きました。

紐や腕章によって「勤務時間の徹底」を図ろうとしたが、案内・受付に張りつけられた管理者に「休憩時間確保の仕事」ができる余裕はありません。

も食事もとれない職員がいる現実を当局は知っているのか。

超勤地獄も全国に拡散

今年の確申期は「3時間超勤」が全国・各署に広がりました。また、申告

牧野長官 約束違反

告期限から2週間経っても、個人課税部門では連日4時間超勤で処理に追われる前代未聞の事態も起きています。理由は挙げて人員不足にあり、「想定外の事態には署長判断で法人職員の投入」(東京局)もかけ声倒れ

3月最終週になって「緊急事態宣言」する署長も現れました。

最大問題は事務量見積もり

局署間応援にアルバイト、例年になく大量の派遣社員を動員したものの「初回型など新規施策の事務量見積もりがでなかったことが最大原因だ」と現場の個人1統括が言います。

軋轢・混乱もたらした来署型電子申告

タッチパネルをなくし来署型電子申告に急ハンドルを切ったため、現場

にあつれきと混乱が生じました。「何かなんでも初回来署型ではないし

混合時にタッチが必要となれば追加することは否定しない。臨機応変ということだ」との牧野

長官の回答は、まったく現場に降りず、来署型電子申告普及割

合アップを自己目的とした運営が強行されました。

等々、疑問と不安の声があがりまし。

添付書類を名寄せし、KSK画面と照合しながらの審査も大変でした

業者に「丸投げ」しているe-Taxヘルプデスクについて、とくに3月に入り苦情の電話が頻りにかかってきました。

「電話がつかない」「対応がなっていない」から始まり、税務署にヘルプデスクを置き、操作方法を教えられないよう

せ、超勤増大の要因となりました。

は税金泥棒ではないのか等々、その対応に相当な時間と神経を使い果たしました。

電子申告割合は東京局で12%(8%が来署型、4%がe-Tax)に達したと言われていますが、書類添付漏れ、重複送信・空送信、紙との重複等も多く回付事務の遅延が生まれました。

立ちっ放し・中腰で健康に赤信号

ハイカウンター・立ちっ放し・巡回指導の3点セットに、あらたに「タッチパネル廃止・来署型電子申告誘導」が画一的に持ち込まれました。

交番要員が配置できない外部会場では一日中の相談従事が強いられる一方で、ローカウンターで

の中腰指導も続いています。

「外部会場も基本的には半日交替だ」とした牧野長官の回答はその場しのぎで、一向に改善されていません。

一日中立ちっ放し・中腰となる職員はマッサージ・整骨院に通っているなど、例年以上に体調悪化を訴えています。

電話鳴りっ放しの相談室

集中化された相談室でも異変が起きています。

この時期、毎日一人が100件を超える電話対応を行うなど昼休み休憩が思うようにとれない状況が生まれています。

「今までの分室とは、まったく違う」「あまりに忙しいので、定年を待たず退職したい」など、ベテランの相談官の悲痛な叫び声が聞こえました。

平等社会を求める世論増大

「日本が目指すべき社会」という設問に、「貧富の少ない平等社会」との回答が急増し、「意欲や能力に応じた自由な競争社会」という回答が減少している。

「自由で多様な働き方」と評価する向きもあつたフリーターについても、「生活を不安定にする働き方」という人が88%と過去最高。対して「自由で多様な働き方」は26%と最低です。

景気回復のため賃上げと安定雇用を訴えた首相のメルマガは大企業からは無視された形で、会社が儲かっても給料を上げないという風潮を振りまいてきたツケが露呈したものです。

「意欲や能力に応じた自由な競争できる社会」を奨励してきた国の責任は重いものがあります。

「日本がめざすべき社会は？」

42.3% 貧富の差が少ない平等社会

31.1% 意欲や能力に応じ自由に競争できる社会

2004年 30.6%

07年 43.2%

景気回復のため賃上げと安定雇用を訴えた首相のメルマガは大企業からは無視された形で、会社が儲かっても給料を上げないという風潮を振りまいてきたツケが露呈したものです。

「意欲や能力に応じた自由な競争できる社会」を奨励してきた国の責任は重いものがあります。

「日本がめざすべき社会」という設問に、「貧富の少ない平等社会」との回答が急増し、「意欲や能力に応じた自由な競争社会」という回答が減少している。

「自由で多様な働き方」と評価する向きもあつたフリーターについても、「生活を不安定にする働き方」という人が88%と過去最高。対して「自由で多様な働き方」は26%と最低です。

景気回復のため賃上げと安定雇用を訴えた首相のメルマガは大企業からは無視された形で、会社が儲かっても給料を上げないという風潮を振りまいてきたツケが露呈したものです。



タッチパネルをなくし来署型電子申告に急ハンドルを切ったため、現場

にあつれきと混乱が生じました。「何かなんでも初回来署型ではないし

混合時にタッチが必要となれば追加することは否定しない。臨機応変ということだ」との牧野

長官の回答は、まったく現場に降りず、来署型電子申告普及割

合アップを自己目的とした運営が強行されました。

等々、疑問と不安の声があがりまし。

添付書類を名寄せし、KSK画面と照合しながらの審査も大変でした

業者に「丸投げ」しているe-Taxヘルプデスクについて、とくに3月に入り苦情の電話が頻りにかかってきました。

「電話がつかない」「対応がなっていない」から始まり、税務署にヘルプデスクを置き、操作方法を教えられないよう

せ、超勤増大の要因となりました。

は税金泥棒ではないのか等々、その対応に相当な時間と神経を使い果たしました。

電子申告割合は東京局で12%(8%が来署型、4%がe-Tax)に達したと言われていますが、書類添付漏れ、重複送信・空送信、紙との重複等も多く回付事務の遅延が生まれました。

立ちっ放し・中腰で健康に赤信号



「昼休み対応定着のため職員犠牲はふさわしくない」「昼休み確保は本気だ」と長官大ミエきったが……

局署間応援にアルバイト、例年になく大量の派遣社員を動員したものの「初回型など新規施策の事務量見積もりがでなかったことが最大原因だ」と現場の個人1統括が言います。

この責任は、挙げて庁当局にあることを指摘しておきます。

「意欲や能力に応じて」

「日本が目指すべき社会」という設問に、「貧富の少ない平等社会」との回答が急増し、「意欲や能力に応じた自由な競争社会」という回答が減少している。

「自由で多様な働き方」と評価する向きもあつたフリーターについても、「生活を不安定にする働き方」という人が88%と過去最高。対して「自由で多様な働き方」は26%と最低です。

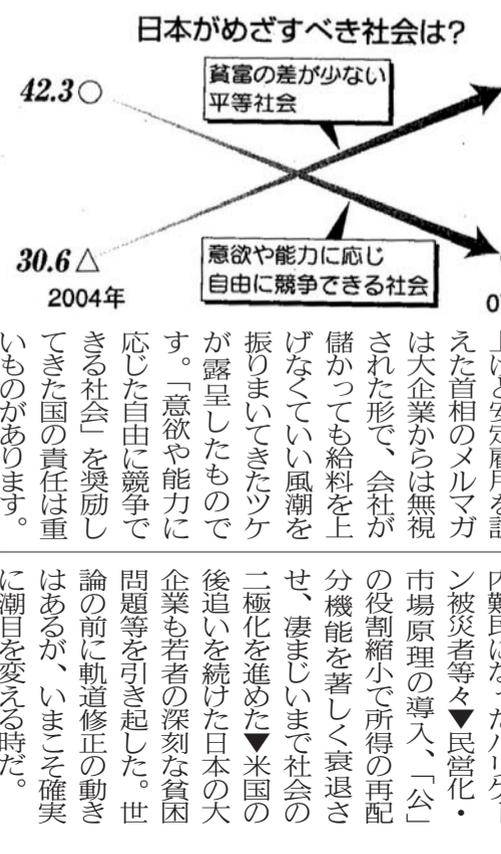


「外部会場も基本的には半日交替だ」とした牧野長官の回答はその場しのぎで、一向に改善されていません。

一日中立ちっ放し・中腰となる職員はマッサージ・整骨院に通っているなど、例年以上に体調悪化を訴えています。

電話鳴りっ放しの相談室

集中化された相談室でも異変が起きています。この時期、毎日一人が100件を超える電話対応を行うなど昼休み休憩が思うようにとれない状況が生まれています。



景気回復のため賃上げと安定雇用を訴えた首相のメルマガは大企業からは無視された形で、会社が儲かっても給料を上げないという風潮を振りまいてきたツケが露呈したものです。「意欲や能力に応じた自由な競争できる社会」を奨励してきた国の責任は重いものがあります。

「日本がめざすべき社会」という設問に、「貧富の少ない平等社会」との回答が急増し、「意欲や能力に応じた自由な競争社会」という回答が減少している。

「自由で多様な働き方」と評価する向きもあつたフリーターについても、「生活を不安定にする働き方」という人が88%と過去最高。対して「自由で多様な働き方」は26%と最低です。

景気回復のため賃上げと安定雇用を訴えた首相のメルマガは大企業からは無視された形で、会社が儲かっても給料を上げないという風潮を振りまいてきたツケが露呈したものです。

「意欲や能力に応じた自由な競争できる社会」を奨励してきた国の責任は重いものがあります。

「日本がめざすべき社会」という設問に、「貧富の少ない平等社会」との回答が急増し、「意欲や能力に応じた自由な競争社会」という回答が減少している。

「自由で多様な働き方」と評価する向きもあつたフリーターについても、「生活を不安定にする働き方」という人が88%と過去最高。対して「自由で多様な働き方」は26%と最低です。

景気回復のため賃上げと安定雇用を訴えた首相のメルマガは大企業からは無視された形で、会社が儲かっても給料を上げないという風潮を振りまいてきたツケが露呈したものです。

「意欲や能力に応じた自由な競争できる社会」を奨励してきた国の責任は重いものがあります。

「日本がめざすべき社会」という設問に、「貧富の少ない平等社会」との回答が急増し、「意欲や能力に応じた自由な競争社会」という回答が減少している。

「自由で多様な働き方」と評価する向きもあつたフリーターについても、「生活を不安定にする働き方」という人が88%と過去最高。対して「自由で多様な働き方」は26%と最低です。

